

2024年度研究成果（論文・書籍）一覧

I. 原著論文（査読有）

学長

1. M Takahashi・K Hoshino M Hamada・T Tamura R Moriuch・H Dohra・Y Nakagawa・S Kokubo・M Yamazaki・H Nakagawa・M Hayakawa・S Kodani・H Yamamura: *Streptomyces yaizuensis* sp. nov., a berninanycin C-producing actinomycete isolated from spore, *Journal of Antibiotics*, 78(1), 35-44, 2025.1.
2. M.J. Nime・H. Yamamura・M. Hayakawa・N. Matsuura・N. Oku・Y. Igarashi: Cryptoc acids A and B, benzene-containing polyketides, and cyclocryptamide, a modified diketopiperazine, from an actinomycete of the genus *Cryptosporangium*., *Journal of Antibiotics*, 78(3), 141-148, 2025.3.

国際政策学部

1. 萩原孝恵: ストーリーテリングとジェンダー —I-JAS における日本語母語話者の発話分析—, *ヨーロッパ日本語教育* 27, 547-553, 2024.5.
2. 賀南・馬叢慧: 初級中国語における“把”構文の分類と導入順序—日本の大学初級教科書の調査分析を例として（初級汉语中“把”字句的分类和导入顺序—以日本大学初级教科书的调查分析为例—）, *日中言語文化* 18 (0), 58-67, 2024.12.
3. 松井亮太: 人生の危機のマネジメント, *組織科学* 第58巻3号, 55-69, 2025.3.
4. 名和敏光: 虎溪山漢簡《閔昭》〈六十干支占〉占數理論初探, *中國出土文獻與古代文明國際學術研討會會議論文集*, 207-213, 2024.5.

人間福祉学部

1. 高木寛之: 住民座談会における情報提供が小地域福祉活動に与える影響に関する研究—動的相互依存モデルを用いた計画策定から計画実施までの事例分析—, *日本の地域福祉* 37, 47-58, 2024.4.
2. 奥谷佳子: 幼稚園の4・5歳児クラスの協同的な遊びと活動場面における保育者の質問の分析—幼児の意図やイメージを問う質問の形式と連鎖に着目して—, *保育学研究* 第62巻2号, 7-18, 2024.12.
3. 高橋幸裕・林和秀: 訪問看護・介護現場における終末期ケアのあり方に関する研究—利用者への直接的なケアを提供する専門職の視点からみた役割分担のあり方—, *山梨県立大学人間福祉学部紀要* 第20号, 1-23, 2025.3.

看護学部

1. 小山尚美・會田信子・渡邊裕子・流石ゆり子・下里誠二・杉山暢宏:急性期医療を担う病院における認知症看護実践に関する組織風土尺度の開発と信頼性・妥当性の検討, 日本看護科学学会誌 第44巻, 753-762, 2025.2.
2. 高取充祥: 心肺蘇生中の家族の立ち会い (Family-Witnessed Resuscitation; FWR) 体験前後の医師・看護師の認識, 日本エンドオブライフケア学会誌 第9巻1号, 55-63, 2025.2.
3. 武井泰・日吉恭則・近藤ふさえ:看護学生の臨地実習中における速乾性手指消毒薬に関する実態調査, 医学と生物学 第165巻1号, 1-10, 2025.2.
4. 金森悟・河口謙二郎・辻大士・井出一茂・菊池宏幸・白井こころ・山北満哉・甲斐裕子・Ichiro Kawachi・近藤克則:Taiso practice and risk of functional disability and dementia among older adults in Japan: The JAGES cohort study, SSM - Population Health, 28, 101731, 2024.12.
5. 丹野真理子・鄭佳紅:看護師長のコンピテンシーと経験学習の実行度および首尾一貫感覚 (SOC) との関連, 日本看護管理学会誌 第28巻1号, 193-203, 2024.
6. 高岸弘美・乙黒恵子:在宅酸素療法患者における災害時の課題と支援体制の構築に向けた研究, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 第33巻1-3号, 76-80, 2024.6.
7. 三枝 享・高取充祥・赤池ひさ子・飯野みゆき:病院に勤務する看護師の離職意思と職業経験の質および個人特性の関連, 日本看護科学学会誌 第44巻, 90-98, 2024.9.

地域人材養成センター

1. Keren Mazuz・Ryuji Yamazaki:Trauma-Informed Care Approach in Developing Companion Robots: A Preliminary Observational Study, Frontiers in Robotics and AI, 12:1476063, 2025.3.

II. 論文 (報告 他_査読有)

人間福祉学部

1. 鳥居美佳子・奥谷佳子:保育現場の昼食時間における感染症対策が保育におよぼす影響-2021年11月の調査結果から-, やまなし小児保健 第41号, 33-35, 2024.10.

看護学部

1. 武田真弓・旗持知恵子:心疾患患者の仕事と療養の両立の様相～再就職し就労継続している事例の分析を通して～, 日本慢性看護学会誌, 第19巻, 2025.2.
2. 佐野大・高取充祥:高齢患者の治療に対する意思決定支援-下肢動脈閉塞の患者の一事例を通して-, 山梨看護学会誌 第32巻1号, 38-39, 2024.11.
3. 平田良江・名取初美・萩原結花:健康な乳児を育てる母親が感じる育てにくさと子育ての捉え方, 母性衛生 65巻1号, 144-152, 2024.4.

III. 書籍

国際政策学部

1. 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著(石山宏 分担執筆, 共同執筆につき担当分抽出不可): 検定簿記講義/2級商業簿記〈2025年度版〉, 中央経済社(東京), 2025.3.
2. 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著(石山宏 分担執筆, 共同執筆につき担当分抽出不可): 検定簿記ワークブック/2級商業簿記〈検定版第11版〉, 中央経済社(東京), 2025.3.
3. 岩崎勇編著(石山宏 分担執筆, 第13章「ポイント制度に関する収益認識」, 第17章「役務提供取引に関する収益認識」):最新の収益認識会計, 税務経理協会(東京), 2024.10.
4. 新田忠誓(石山宏 分担執筆, 有価証券他):勘定科目・仕訳事典〈第3版〉, 中央経済社(東京), 2024.8.

人間福祉学部

1. 竹田幸司・川井太加子・伊藤健次:社会福祉学習双書 介護概論, 全国社会福祉協議会, 2025.2.
2. 伊藤健次・土屋幸巳・竹端寛:多機関協働がうごき出す 全方位型アセスメントを使った困難事例の解きほぐし方, 現代書館(東京), 2025.1.
3. 木村史人・渡名喜庸哲・戸谷洋志・橋爪大輝:アーレントとテクノロジーの問い—技術は私たちを幸福にするのか?, 法政大学出版局(東京), 2025.1.

看護学部

1. 水谷信子・水野敏子・高山成子監修(小山尚美 分担執筆, 第4章B2・第5章B4), 最新老年看護学第4版 2025年版, 日本看護協会出版会(東京), 2025.2